

より安心して暮らしやすい 富津市づくりについて



三木 千明
議員

問 安心・安全、快適に暮らせる富津市のまちづくりのための用途地域における土地利用について伺う。隣接する君津市等でも住宅地の開発などに一服感が感じられる中、富津市内の道路整備も着実に進められ、私が着目している君津市との市境の地域、市内の中心市街地周辺等に集中して策を施せば、上総地域において住みやすい優良な住宅供給先としての可能性があると考えますが、市の土地利用やまちづくりビジョン等が明確でない点、可能性やポテンシャルを活かせない。富津市の目指す安心・安全で快適に暮らせる富津市のまちづくりとは何か伺う。2点目に、安心して暮らしやすい富津市づくりに向けた公共交通について伺う。富津市地域公共交通網形成計画に基づき、各種施策が実行され、市民の皆様方からも評価著しいところであるが、本市の公共交通の現状と施策について見解を伺う。

市長 将来都市像を「豊かな自然に包まれた安全、安心で、潤いある暮らしを支え育むまち富津」と掲げ、平成29年3月に富津市都市計画マスタープランを改訂した。

同プランでは、市の将来像を踏まえ、計画的な土地利用を進めていくため、用途地域を中心商業地、工業地、専用住宅地等に区分配置し、適切な土地利用を誘導していく。公共交通については、富津市地域公共交通網形成計画に基づき各種事業を進めており、タクシー運賃助成事業は7月から運用を開始した。また、10月1日に富津浅間山バスのストップがオープンし、房総なのはな号（白浜～東京線）、新宿なのはな号（館山～新宿線）、南総里見号（館山～千葉線）、館山～羽田空港・横浜線の4路線の利用が開始されたほか、二次交通手段として、バスストップ駐車場でカーシェアリングサービスを導入した。



令和元年10月1日から4路線が利用できる浅間山バスストップがオープン

令和元年度議会報告会

富津市議会では『市民に開かれた議会』を目指し、平成27年度から議会報告会を開催しています。

令和元年度は、令和元年12月13日天羽会場（市民会館）、17日大佐和会場（中央公民館）、19日富津会場（富津公民館）の3会場で実施し、1部では、平成30年度議会報告会「子育てのこと何でも聞きます議会」においていただいたご意見等に基づく、議会の取り組みや市への提言についての結果報告、2部では、「台風被害から見えてきたこと・感じたこと」をテーマに、参加された皆様からご意見等を伺わせていただきました。

当日は多くの皆様にご参加いただき、たくさんのご貴重なご意見をいただくことができました。ありがとうございました。

各会場では、活発な意見交換が行われ、ご参加いただいた市民の皆様からのご意見、要望等の概要は以下のとおりです。

皆様からいただいた貴重なご意見等を市議会で検討・協議し、市長に提言するほか、今後の議会活動に活かしてまいります。

「台風被害から見えてきたこと・感じたこと」

○避難所について
避難所のトイレ等を、高齢者・車いすの方にも優しいバリアフリー化してほしい。

○災害ゴミ収集について

災害ごみの運搬について、各個人が運搬する場合運搬車両（軽トラック等）が無い家庭では運搬が出来ない状況にあり、運搬はボランティアに任せるしかない状況です。運搬車両のリース等検討してほしい。

○災害時の対策等について

行政組織または区として、災害発生時の行動や確認等のマニュアル作成と、対策訓練・シミュレーションの徹底。



議会報告会の様子